

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【231】

2. 日時：令和4年7月15日 13時30分～15時22分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、服部（正）主任安全審査官、三浦主任安全審査官、植木主任安全審査官、藤川安全審査官、谷口技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他21名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力建築室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

| 時間 | 自動文字起こし結果 |
|---------|---|
| 0:00:04 | 規制庁のハツトリです。 |
| 0:00:06 | ただいまから、島根 2 号機、設工認についてヒアリングを開始いたします。 |
| 0:00:11 | 本日の議題は、耐震評価対象の網羅性、 |
| 0:00:16 | 本日の議題は三つありまして、まず一つ目は、耐震評価対象の網羅性及び既工認の手法の相違点について、 |
| 0:00:27 | 二つ目が基礎基準地震動と弾性設計地震動について。 |
| 0:00:32 | 三つ目が、基本設計方針に関する説明資料のうち、四条 49 条十条、いわゆる時、地盤関係ですね。 |
| 0:00:41 | これにありますますがよろしいでしょうかどうぞ。 |
| 0:00:48 | はい。中国電力のユリです。こちらの進め方について 1 点よろしいでしょうか。 |
| 0:00:54 | 規制庁のハツトリですそれでは本日の進め方と、資料の確認までお願いいたしますどうぞ。 |
| 0:01:02 | はい中国電力のユリです。まず進め方についてですが、一番最初です、基本設計方針 4049 条 10 条のご説明、ご審議させていただいた後に、 |
| 0:01:15 | 人の入れ替えもごさいますので一旦切らせていただきまして、 |
| 0:01:18 | そのあと、あと二つ残り二つですね。 |
| 0:01:22 | 耐震評価対象の網羅性既工認等の手法除いての整理について、 |
| 0:01:26 | こちらと、基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 SD の策定概要につきまして、ご説明ご審議させていただきたいと思います。 |
| 0:01:38 | 規制庁のハツトリですそうすると、資料の確認も二つに分けて確認することによろしいでしょうかどうぞ。 |
| 0:01:47 | 中国電力の李です。資料確保につきましては一番最初に番号振りも含めましてですね、ご説明させていただきたいと思います。以上です。 |
| 0:01:57 | 規制庁の服部です。それでは資料の確認をお願いしますどうぞ。 |
| 0:02:03 | 中国電力の庄司です。それでは資料の確認をさせていただきます。資料ナンバー1 としまして、資料番号N-Sに他 13001。 |
| 0:02:13 | の、回答整理表。 |
| 0:02:15 | 資料ナンバー2 といたしまして、資料番号N-S2 歩 023021 回 02 の説明資料、 |
| 0:02:24 | 資料ナンバー3 といたしまして資料番号N-Sに、他 094 階 01 の基準地震動 S_s 及び弾性設計地震動に関わる該当整理表、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:02:36 | 資料ナンバー4 といたしまして、資料番号N-S2.2001-02、I02 の基準地震動及び弾性設計用地震動に関わる説明資料、 |
| 0:02:48 | 策定概要、 |
| 0:02:50 | 資料ナンバー5 といたしまして、資料番号N-S2 歩 023、 |
| 0:02:55 | 16 の弾性設計地震動の設定についての説明資料、 |
| 0:03:01 | 資料ナンバー6 といたしまして資料番号N-Sに、他 162 の耐震基本方針に関わる回答整理表、 |
| 0:03:10 | 資料ナンバー7、 |
| 0:03:12 | といたしまして資料番号N-S2 基、004 回 01 の説明資料、以上となります。 |
| 0:03:22 | 規制庁の服部です。はい。確認ができましたので、それではまず、基本設計方針の方から説明を始めてください。どうぞ。 |
| 0:03:32 | 中国電力の荘司です。 |
| 0:03:34 | それでは、基本設計方針 4 条 49 条 10 条に関わるコメント回答についてご説明いたします。資料ナンバー6 の回答整理表 1 ページをお願いいたします。 |
| 0:03:47 | コメントNo. 1 といたしまして設置変更許可申請書に設定方針を示した改良地盤の解析用物性値について、基本設計方針及び地盤の支持性能に関わる基本方針への反映を検討することと、 |
| 0:04:01 | コメントをいただいております。こちらのコメントに対する回答といたしまして資料ナンバー⑦、 |
| 0:04:07 | 3 ページをお願いいたします。 |
| 0:04:14 | 3 ページ左から 3 列目に工事計画認可申請書を基本設計方針(5)ということで工認の基本設計方針を記載してございます。こちら、下側、また上記に加えから始まる段落になりますが、 |
| 0:04:28 | 前回までは、設置、設置変更許可を受けた地盤に設置するというところまでを記載してございました。今回それ以降にございます黄色ハッチ部分を追記してございます。 |
| 0:04:41 | こちら読み上げさせていただきますと、設置変更許可を受けた地盤のうち、地震等及び地殻変動による基礎地盤の傾斜が、基本設計段階の目安値である 2000 分の 1 を上回る施設が設置される改良地盤については、 |
| 0:04:55 | 設置変更許可を受けた物性値が確保されていることを、室内 5 試験及び施工時の品質管理室で確認するという部分を追記させていただいております。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:05:05 | その下に、赤字で⑦-1ということで引用元を追記させていただいております。こちらの引用元につきましては、8 ページをお願いします。 |
| 0:05:20 | 8 ページの設置変更許可申請書添付書類 8 の列になります。下側から 9 ページにかけて議論Hatch及び赤線でお示しておりますが、 |
| 0:05:31 | 地震動及び地殻変動による基礎の地盤の傾斜は、基本設計段階の目安値である 2000 分の 1 をまわる施設において、PS検層等に基づく改良地盤の物性値を確保した上でグラウンドアンカーを考慮することにより、 |
| 0:05:45 | 施設の安全機能を損なわないように設計するという部分から、一部引用してございます。 |
| 0:05:52 | こちらで 1 点訂正させていただきます。3 ページに戻りまして、 |
| 0:06:00 | 先ほど飯尾も頭のテンパチを読み上げさせていただきましたがこちらからの引用以外の部分は青字で書くべきところがございますが、黄色 8 の部分すべて黒字で記載しておりますので、 |
| 0:06:12 | 一部青字に修正させていただきたいと思えます。 |
| 0:06:17 | 続きまして 15 ページをお願いします。 |
| 0:06:25 | こちらに様式 6 ということで 4 条の各条文の設計の考え方を記載しております。 |
| 0:06:32 | 先ほどご説明した内容を、1 ポツ、技術基準の条文解釈への適合性に関する考え方という欄に⑦といたしまして、 |
| 0:06:42 | 基礎地盤傾斜が 2000 分の 1 を上回る基本方針ということで追加してございます。 |
| 0:06:47 | こちらにつきまして説明資料等という、レイズ 2 ペーというふうに記載しております。こちらのAにつきましては次のページ 16 ページをお願いします。 |
| 0:06:58 | 16 ページの 4 ポツ、詳細な検討が必要な事項にナンバー耐震性に関する説明書ということで、記載しておりますが、こちらの、 |
| 0:07:08 | 説明書というのが地盤支持性能に関わる基本方針の説明書ということで記載してございます。 |
| 0:07:17 | 耐震基本方針に関わるコメント回答は以上になります。 |
| 0:07:23 | 規制庁の服部です。それではただいまの説明に対して確認する点がある方お願いしますどうぞ。 |
| 0:07:31 | 規制庁チギラです。説明についてはわかりました。それで、衛藤先ほどあったんですけどT07 の資料の 3 ページから 4 ページにかけて今回追記していただいたところで、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:07:44 | 先ほど説明あったように黄色ハッチのところで、黒と青がちょっと識別できないってことだったんですけど、ちょっと聞こうと思っていたんですけど、青字っていうのは結局はどの、どこ。 |
| 0:07:57 | 彼が次になるかっていうのは今、 |
| 0:07:59 | 説明いただけますか。 |
| 0:08:03 | はい。中国電力のユリです。青字になるのはですね、ちょっと細かいところは置いときまして4ページに記載してございますけども、 |
| 0:08:14 | 2000分の1を上回る施設が設置される以降の改良地盤についてはからの記載ですね。 |
| 0:08:21 | こちらが今のC制度の補足説明に関わる審査も踏まえまして、青字の記載になるところになります。以上です。はい。規制庁桐生です。わかりました。私の認識と一緒にしたので確認が取れました。 |
| 0:08:39 | それでこちらについては記載の適正化だと思いますので今後、ここところは、は黄色のハッチとか取った形で、黒田宇土。 |
| 0:08:50 | いう形で資料が出てくると思いますので、その時点で確認できればいいかなというふうに思いますが、その対応でよろしいでしょうか。 |
| 0:09:01 | はい。中部電力、ユリですその認識で間違いありません。そのように修正させていただきます。以上です。 |
| 0:09:08 | はい、木曾一木です。わかりました。私から以上です。 |
| 0:09:14 | 規制庁の服部です。それでは追加で説明するところがあればお願いします。 |
| 0:09:23 | 中国電力の荘司です。回答整理表の |
| 0:09:27 | 失礼しました。資料ナンバー6の回答整理表2ページに適正化箇所ということで1から6をお示ししてございます。こちらにつきましてはいずれも、コメント回答に合わせた記載の適正化及び、 |
| 0:09:38 | 資料全体の整合を図る修正等、軽微な修正でありますので、今回説明は割愛させていただきます。以上です。 |
| 0:09:47 | 規制庁の服部です。はい。それでは資料7番についての全体について確認する点がある方お願いします。 |
| 0:09:54 | よろしいでしょうか。はい。それでは |
| 0:09:59 | 基本設計方針については確認をしました。本地通のコメントですけども、 |
| 0:10:06 | 特にないということで認識しております。しておりますけれども、中国電力の方はそれでよろしいでしょうかどうぞ。 |
| 0:10:15 | 中国電力の荘司です。ご理解の通りでございます。以上です。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:10:25 | 規制庁のハツリですはい。それでは次の説明に移ってくださいどうぞ。 |
| 0:10:37 | はい。中国電力の吉本です。 |
| 0:10:39 | それでは続きまして資料 1 と資料 2 を用いて評価対象のもう、 |
| 0:10:46 | 評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理についてについてご説明させていただきます。 |
| 0:10:53 | こちらについては、回答整理表を用いましてコメント意見に対して、審議、都度審議という形にさせていただきたいんですけどよろしいでしょうか。 |
| 0:11:04 | 規制庁の服部です。それでお願いしますどうぞ。 |
| 0:11:11 | はい中国電力のヨシモト承知しました。 |
| 0:11:19 | すいません中国電力の江沢です。 |
| 0:11:23 | それでは |
| 0:11:24 | 耐震評価対象の茂呂セイキ高野手法の相違点性につきましてコメントを回答させていただきます。 |
| 0:11:30 | 資料番号一番、お願いいたします。 |
| 0:11:35 | 回答整理表になりますが 1 ページ目の |
| 0:11:39 | ナンバー9、 |
| 0:11:40 | 耐震評価対象アガワ取水管及び水高について女川 2 号と、構造が異なるためその他プラント含めて比較を行うことというコメントいただきました。資料番号 2 の |
| 0:11:53 | 通しページの 42 ページお願いいたします。 |
| 0:12:05 | はい。42 ページになります。 |
| 0:12:07 | こちらの表、 |
| 0:12:09 | 下 2 行になります取水管取水口、 |
| 0:12:13 | こちらで真ん中より少し右側ぐらい最新プラントの相違点というところでござい。前回の資料では、女川 2 号機の取水炉取水口と、 |
| 0:12:25 | を確認するというふうにしておりましたが、女川 2 号機はコンクリート構造物であるに対しまして、島根 2 号機の取水が取水口は栄光製のものとなっております。 |
| 0:12:37 | 少しこま構造が違うというところで衛藤。 |
| 0:12:41 | どうぞの合同でございます。九州電力さんの玄海、丹 4 号機の方を参照する方針といたしました。それでこの表としまして、いたしましてはちょっと、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:12:52 | 最新プラントとの相違点をバーとさせていただいております。また、構成部材ということで許容応力度評価を実施しますので、その左のSS評価というところにつきましては、 |
| 0:13:04 | 二重マルからマルという記載に見直しをしております。 |
| 0:13:08 | そして 50 ページお願いいたします。 |
| 0:13:19 | はい。50 ページにあります、中ほどに取水管取水口が並んでおりますがこちらにつきましては |
| 0:13:26 | 玄海 334 号議と相当するように記載の方を隔離をいたしました。 |
| 0:13:34 | また協力の方等についても記載をし、いたしました。はい。 |
| 0:13:40 | こちら、No期の回答につきまして以上となります。 |
| 0:13:44 | 規制庁のハツリです。それでは確認があればお願いしますどうぞ。 |
| 0:13:49 | はい。規制庁吉良です。こちらのコメントについては、この回答の内容で結構です。はい。では次お願いします。 |
| 0:14:02 | はい。中国電力のショウガンです。続いて回答整理表のNo.10 についてご説明いたします。 |
| 0:14:08 | 資料ナンバー一 番回答整理表の 1 ページお願いします。 |
| 0:14:14 | こちらのナンバー10 について 3 月 11 日のヒアリングにおけるコメント内容は、制御室建物基礎スラブについて、既工認との相違点として、付着力を考慮していることを説明することでございます。 |
| 0:14:27 | こちらの回答について、資料番号 2 番、補足説明資料の 13 ページをお願いします。 |
| 0:14:37 | 13 ページ中ほど、dポツ、制御室建物基礎スラブ |
| 0:14:42 | の最後の段落のなお書きにて、 |
| 0:14:44 | 地震応答解析の結果、基礎浮き上がりが発生しないために必要な付着力が、付着力試験に基づき設定した値を超えないことから、 |
| 0:14:53 | 基礎底面の地盤ばね浮き上がりを考慮しない、弾性地盤ばねとして解析を実施しているという記載を追記いたしました。 |
| 0:15:01 | また、これの一つ上のCポツ、原子炉建物基礎スラブについてですが、衛藤木曾佐渡より立ち上がる耐震駅を梁要素及びシェル要素でモデル化して、 |
| 0:15:12 | 解析を実施することといたしましたので、あわせて記載を追記しております。 |
| 0:15:17 | 続けてすみません。1ヶ所誤記を訂正させていただきます。 |
| 0:15:22 | と、1 ページ戻っていただきまして 12 ページ、お願いします。 |
| 0:15:28 | (2)のポツ、燃料プール、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:15:32 | のところの下から 3 行目において、 |
| 0:15:35 | 東西軸に対してほぼ対象という部分対象の字が間違っておりましたので、 |
| 0:15:42 | 申し訳ございません。次回提出に適正化させていただきます。 |
| 0:15:48 | ナンバー10 関連のご説明については以上です。 |
| 0:15:51 | 規制庁の服部です。では確認する点がある方お願いしますどうぞ。 |
| 0:15:58 | 規制庁のミウラです。13 ページ。 |
| 0:16:01 | 制御室建物を基礎スラブ、これが |
| 0:16:05 | 浮き上がりを考慮しない弾性地盤ばねとしての解析を実施すると。 |
| 0:16:10 | 記載はこれで結構なんですけど、これ審査会合でも、ちょっと私の方から言ったんですけど、基礎スラブの設計法について今後詳細に説明してくれよと。 |
| 0:16:20 | いう話をして、今準備してますというご返事をいただいているんですが、 |
| 0:16:25 | この制御建屋の解析モデル、解析方法がやっぱり、 |
| 0:16:31 | よく理解できないので、ちょっと今から今後細かい話をするとして、ちょっと大きな方針だけを、 |
| 0:16:38 | 確認をします。 |
| 0:16:40 | まず一つが、 |
| 0:16:42 | 制御建屋の基礎スラブの設計については、 |
| 0:16:47 | 鉛直方向地震力と水平方向地震力、これを同時にかけてやるんでしょうか。 |
| 0:16:59 | 中国電力の仲村です。はい。江村さんのご認識の通りで水平方向と鉛直方向同時に荷重を入力して解析を行います。以上です。 |
| 0:17:09 | 規制庁の三浦です。そうしますとね、 |
| 0:17:12 | 基本的には基礎スラブに浮き上がりが生じてませんか。 |
| 0:17:39 | 中国電力の落合です。ちょっと詳細はまた、別途説明するちょっと資料。 |
| 0:17:46 | ちょっと説明させて欲しいと思っておりますけどちょっと今、口頭でちょっと補足になってしまいます。 |
| 0:17:53 | ちょっと、まず、基礎スラブの応力解析につきましては、今回ちょっとここに書かせていただいたように、男性の地盤までで、要は引張力が発生しても、 |
| 0:18:05 | 切れないような地盤ばねを離散化して、FMのマット下にモデル化してます。で、そもそもそうしてる理由っていうのが、まず地震応答解析の方で、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:18:17 | 水平による、転倒モーメントと、鉛直の上向き下向きを組み合わせせてあげても、接地率が 100%で、要は浮き上がりが発生しない。 |
| 0:18:30 | ていうことを確認したことを前提として、この応力解析をこういうふうに行っているということで、そこら辺の具体的な数値ですとか根拠ですとか、そういったところをまた今後、補足説明資料とかでですね、 |
| 0:18:44 | 説明させていただこうかと、いうふうに考えております。以上です。 |
| 0:18:48 | 規制庁の三浦です。今の話はあれですか。鉛直水平同時入力しても受けアライが生じないことを確認しているということなんですか。 |
| 0:19:03 | 中国電力の落合です。その浮き上がりが発生しないことについては地震動解析の方なので、同時入力ではないですけども、時刻歴、 |
| 0:19:14 | 上場の組み合わせですとか、組み合わせ係数法とか、いずれ、いずれをやっても、接地率が 100%確保できていると、いうことを確認していると。 |
| 0:19:25 | いうものになり、なって、それを今ちょっと仕様化して今後ご説明するような形で考えております。以上です。 |
| 0:19:32 | 規制庁の梅田です。今の話で、結局あれですね。 |
| 0:19:37 | 水曜この地震応答解析をやり、鉛直方向の地震ごと解析をやり、それで、その時刻歴を見て、その一番厳しくなるところを、 |
| 0:19:50 | を見ても、浮き上がりは生じないんでこういうふうな設計をしますと言ってんでですね。 |
| 0:19:58 | 中国電力の落合です今おっしゃった通りです。以上です。 |
| 0:20:02 | ちょっと今後ね、 |
| 0:20:05 | 族のところは、また基礎スラブ制御室建物の基礎スラブの設計の時に、 |
| 0:20:12 | ちょっといろんなディスカッションさせていただきたいとは思っています。 |
| 0:20:17 | 基本的にはあれなんですか、今の状態というのは、 |
| 0:20:21 | 水泳方向の地震力と鉛直方向の地震力を同時に採火をしてやってその状態だと、浮き上がるかもしれないんですけども、 |
| 0:20:31 | そこは線形ばねで結んでいるので、その地盤ばねに引っ張りが入ったとしても、 |
| 0:20:37 | すぐ基礎スラブ間と要するにジョイント図で話すということじゃなくて、基礎スラブを拘束したままの状態になってるっていうふうに、 |
| 0:20:45 | 考えてるんですが、それはそれで正しいですかその認識で。 |
| 0:20:51 | 中国電力の落合です今おっしゃった通りの認識で問題ございません。以上です。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:20:55 | わかりました。実際問題として線形でこういうふうにやられてるというのは事実なので、ここでは記載の話なんで、これは了解したいと思いますが、実際、 |
| 0:21:07 | どのような検討されてそういう解析も妥当なのかというようなことを含めてですね、 |
| 0:21:13 | one. OTも考えてるんですね。 |
| 0:21:16 | その辺のところは今後、じっくりご説明をいただくという理解でよろしいですか。 |
| 0:21:23 | 中国電力の落合でその理解で問題ございません。今後制御建物事象と経産省の計算結果の補足説明資料の中でその辺も含めてですね、しっかり説明させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。はい。規制庁の三浦です。了解しました。 |
| 0:21:39 | 具体的にその辺のところの資料が出てくるのはいつごろ出てくるですか。 |
| 0:21:53 | 中国電力のオチャイ、ちょっと具体的なところは、少し、いろいろ他の順番の兼ね合いとかもございすけども、今とりあえず今入力の関係のヒアリングをやっておりまして、 |
| 0:22:05 | あと減少建物関係のもろもろコメントもいただいておりますその次に、優先順位でこれ早めに説明しようと思っておりますので、早くても、 |
| 0:22:17 | 早くて早ければ9月上旬ぐらいにはですねご説明できるように今、準備の方を進めております。 |
| 0:22:24 | いかがでしょうか。わかりました |
| 0:22:27 | 少しこれ前から気になってるところでもあるので、は、できるだけ早くご説明していただいた方がですね、後々肯定的な問題からもんいのかなというふうに思ったので、できるだけ早くということで努力をお願いします。 |
| 0:22:43 | 中国電力の落合です承知いたしましたなるべく早く説明できるように準備いたしますのでよろしくお願い致します。以上です。はい。規制庁の三浦です。ではこのコメントコメントで記載を確認しましたので結構です。 |
| 0:22:55 | あと残りの技術的な機能、課題に関しては今後ということで、そういう形で進めたいと思います。 |
| 0:23:07 | 中国電力の落合です承知いたしました。以上です。 |
| 0:23:11 | 規制庁の服部です。ただいまのコメントに対してほかあればお願いします。 |
| 0:23:16 | よろしいでしょうか。では次お願いしますどうぞ。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:23:23 | はい。中国電力、伊佐です。 |
| 0:23:26 | それでは資料番号 1 の 2 ページ目、お願いいたします。 |
| 0:23:33 | 2 ページ目の一番上ナンバー10 になります。防波扉における応力解析について説明すること。 |
| 0:23:41 | 資料番号 2 の 40 年ページの 48 ページをお願いいたします。 |
| 0:23:52 | はい。48 ページになります。逃亡は併記通路防波扉、下から 2 行、二つありますがこちらと、その次のページ 49 ページに、 |
| 0:24:02 | 上二つがございます。こちらについて |
| 0:24:07 | 応力解析、前回ですねこちらの記載が抜けておりました。下の 1 号機取水槽量縮小化とかそういったところはちょっと応力改正値の記載をしていたのですが、 |
| 0:24:17 | ちょっとこちらとの統合がとれていなかったというところで今回は、大畑リーダーの方も同様な記載をいたしました。 |
| 0:24:24 | こちらのコメント以上となります。 |
| 0:24:27 | 規制庁の服部です。はい。確認しましたので、これは良にしたいと思います次お願いしますどうぞ。 |
| 0:24:37 | はい。中国電力の石沢です。続きましてすみません。資料番号 1 をお願いいたします。同じく 2 ページ目になります。 |
| 0:24:48 | No.14、 |
| 0:24:50 | 防波壁について、各構造形式において設計手法を整理するとともに、秋谷栗城のグラウンドアンカーのように先行実績ないものについて内容をわかる説明すること。 |
| 0:25:01 | です。資料番号 2 のページ 16 ページお願いいたします。 |
| 0:25:16 | はい。16 ページになります。 |
| 0:25:18 | 前回につきましてのではこちら中程の防波壁のところで、 |
| 0:25:25 | すべての構造形式についてちょっとすみません、シンプルに非常に記載しておりました。 |
| 0:25:32 | こちらもう少し各構造形式ごとに記載を見直しというところになります。 |
| 0:25:38 | 防波壁多重鋼管ぐイシガキにつきましては、 |
| 0:25:45 | 各部材の断面力または地震を図化付け替える土壌を用いた 3 次元線形FEM解析、こちらを用いまして、皮膚コンクリートについては許容応力度法、護岸部については限界状態設計法を用いて評価する旨を記載いたしました。 |
| 0:25:59 | また逆Tについても |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:26:03 | 約定日鉄筋コンクリート造は許容応力度を用いて評価すること、またグラウンド安価につきましてはその引張力が設計アンカー力はないということを確認することを記載しております。 |
| 0:26:15 | 販売喜納見返し預金につきましては、 |
| 0:26:19 | 20 旅費計算と協力度を用いて 3 次元FEM解析で評価すると。 |
| 0:26:25 | いうところを記載しております。 |
| 0:26:27 | また、改良地盤につきましては、滑り安全率による評価を行う旨、 |
| 0:26:32 | そしてこれらの評価につきまして、 |
| 0:26:36 | 女川 2 号機で共通適用例がある手法であります、防波壁逆T擁壁のグラウンドなんか、こちらにつきましては適用ではないということに記載しております。 |
| 0:26:47 | これらの記載につきまして、50 ページお願いいたします。 |
| 0:27:05 | おおよそ失礼しました 48 ページでございます。失礼しました。 |
| 0:27:10 | 48 ページ。 |
| 0:27:12 | 上から三つ、英語併記になりますが、先ほど申し上げた旨、 |
| 0:27:18 | 記載をしております。 |
| 0:27:21 | こちら、No.14 の回答以上となります。 |
| 0:27:25 | 規制庁の服部です。では確認する点がある方お願いしますどうぞ。規制庁の矢崎です。 |
| 0:27:31 | 私のコメントなんです、多分ですねここに対して良否を、 |
| 0:27:37 | 判断する上で、次のコメント、 |
| 0:27:41 | のやつもちょっと、も含めて話が出てくると、コメント指摘したいんで、 |
| 0:27:46 | 次のコメント。 |
| 0:27:48 | の回答もしてもらえますか。 |
| 0:27:54 | はい。中国電力の吉本です。それでは資料 1-15 を引き続き説明させていただきます。 |
| 0:28:00 | コメントの内容としましては、今回工認において既工認と異なる評価手法を適用するもの構造物及び地盤の線形非線形特性等に、 |
| 0:28:09 | 非線形性等について、考え方がわかるように詳細に説明すること。 |
| 0:28:14 | こちらについて回答欄で回答しますが、屋外配管ダクト、タービン建物から排気塔 |
| 0:28:21 | 及び取水槽の今回工認における解析手法について、既工認時と異なり、構造部材及び地盤括弧非線形材料については、非線形性を考慮する旨の記載を追加しました。 |
| 0:28:33 | 以上が 75 の回答となります。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:28:38 | それでね、基本的に言うと、 |
| 0:28:42 | 特にこの表の話でね、 |
| 0:28:45 | 申し訳ないんですけどその非線形とか、 |
| 0:28:48 | そういったことも詳しく書いてくださって言ってます。それで、 |
| 0:28:53 | 例えばね、もう膨張てのところで言えば、 |
| 0:28:59 | 48 ページの |
| 0:29:02 | 解析モデルというところの、 |
| 0:29:05 | 内容ですね。 |
| 0:29:06 | 例えば僕、 |
| 0:29:10 | 逆T擁壁。 |
| 0:29:12 | のところの、 |
| 0:29:14 | ところが、地質データに基づく二次元有限要素法モデルって、 |
| 0:29:19 | すべからくですね。 |
| 0:29:21 | これ屋外重要構想も含めてみんな同じなんですよね。 |
| 0:29:25 | 同じモデルですかって、すべて同じモデルですかって言ったら、違いますよね。 |
| 0:29:30 | そういった中で行った時にこの表記で、 |
| 0:29:33 | 右の一番、 |
| 0:29:36 | 他プラントを含めた既工認の適用例つった時に東海第2とか女川と書いてますけど、 |
| 0:29:42 | 何が一緒なんですかってわからないですよ。だからこれ審査しようがないですよ。 |
| 0:29:47 | で、 |
| 0:29:48 | そこでまあさ、こういう小さい欄で、 |
| 0:29:53 | んではあるものの、少なくとも例えば、 |
| 0:29:56 | 地盤は、例えば有効な解析だったら、マルチスプリング |
| 0:30:02 | とかですねそのぐらいのキーワードは入れるべきじゃないですか。あと、構造物は、 |
| 0:30:07 | 多分 |
| 0:30:08 | 平面要素、線形平面要素か。 |
| 0:30:11 | 逆T擁壁だと多分、 |
| 0:30:16 | 扇形日、貼る要素、 |
| 0:30:18 | だと思っんですよね。その場合の記載は室構造物と地盤の非線形性とかそういったことの特徴的なモデル化を変えて、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:30:27 | それがどこのサイトで一緒なのかってのわかるようにしていただけますか。 |
| 0:30:37 | はい。中国電力の伊澤です。はい。承知いたしました。こちら解析までのところですね今遊園リョウゾウ二次元FEMモデルと記載をしておりますが、 |
| 0:30:47 | 構造物、また一番特に有効開析度先ほど言われたマルチスプリング要素という話になると思いますのでそちら。 |
| 0:30:55 | 少し明確に記載いたしましてセンコーとの相違の適用例というところを確認していきたいと思います。以上です。同じ話ですが 50 ページ。 |
| 0:31:05 | なると、さっき言った屋外重要交通も同じ話で、 |
| 0:31:09 | ここで例えば取水槽欄で |
| 0:31:13 | 応答解析のところを見ると、また同じ事書いてるんですがここも、 |
| 0:31:17 | 地盤っていうのがあって、ここ、5 歳児、 |
| 0:31:21 | 2 種類あって解析手法は、前後 6 という効力があるんで、例えば全応力の時は、ROなんですけどハードルんビッチを使ってんですか。 |
| 0:31:31 | 何使ってますかっていう話がありますよねそれはある変えていただいて、 |
| 0:31:36 | 有効オールがマルチスプリングだと思うんですねフィリップを使うって宣言してますから、でもそ。 |
| 0:31:43 | うん。基本的言うと、カクテルグラスのフィリップはある。あるんで、この有効の開析者ここは書きオカないんで、ただす。 |
| 0:31:55 | 何を使ってどこと一緒なのかっていうのはそのマルチスプリングだとか、逆に野次をシアンっていうそういう新しいソフトもあるわけなんで、そこはやっぱりマルチスプリングということを書くことによって、 |
| 0:32:07 | それは |
| 0:32:08 | で、 |
| 0:32:11 | フィリップだろうとそうであれば東海第 2 とか、女川と一緒にだねっていうのは判断できるわけですよそういったことはちゃんと情報として、 |
| 0:32:20 | 入れ、入れないと。 |
| 0:32:22 | わからないんだと思います。あと構造物は多分、 |
| 0:32:26 | 薄井層は、 |
| 0:32:27 | 線形平面要素案で、例えば女川の海水ポンプ室と考え方が一緒なんですよね。 |
| 0:32:36 | そういうことがこの表から読み取れないと思うんで、そこやっぱりここは詳しく書いていただく必要があります。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:32:45 | 取水管で言えば構造物は何かファイバー要素を使ってんですが何に使ってんですかってのはわかんないですよ。 |
| 0:32:51 | 特にぜ。うん。 |
| 0:32:53 | さっき取水槽だから、平面要素を使ってっていうのもわかってるんで言ってますけども、 |
| 0:32:59 | もう、 |
| 0:33:00 | 線形用線形のビーム要素を使ってるのか。 |
| 0:33:03 | 全応力だから、スピードアップなんで、 |
| 0:33:07 | 車によってはファイバー使ったり、竹田モデル使ったりしてるんですよ、線形だったら、だけど、これは、は、 |
| 0:33:16 | 管構造ガス線形モデルにしていますって、ある要素にしてるっていうことかもしれませんし、 |
| 0:33:22 | ここは |
| 0:33:24 | 汚水管だから不安なんで、武田モデルってことはないのかもしれないしファイバーじゃないかもしれないですけど、 |
| 0:33:30 | 妥当性も出るかもしれないし、 |
| 0:33:32 | その辺をちゃんと書いていただかないとわからないし、 |
| 0:33:35 | 例えば、モデルによっては、多分は |
| 0:33:39 | 揚水井戸はどうしてですかと、線形の微妙さ、梁要素なんですかってのはわかんないですよ。それに、 |
| 0:33:47 | うん。 |
| 0:33:50 | ダクト系でいうと、51 ページの屋外配管ダクトのB。 |
| 0:33:55 | このディーゼル |
| 0:33:56 | 燃料貯蔵タンクとかこの辺がちょっと代表的な、 |
| 0:34:02 | ダクト的なものでな、あれですよ。やってるもんだと思うんですけど。 |
| 0:34:08 | そうした場合は構造物は多分全応力有効力っていうと、 |
| 0:34:12 | さっき言ったファイバーとか、 |
| 0:34:15 | 竹田モデルとかいろいろあるし、軸力変動型を使ってるのか、何してんのかっていうのはねえとかたモデルなのかとかそういうのわからないので、 |
| 0:34:23 | それが何々と、 |
| 0:34:25 | どこと一緒に符合してるかと、ちょっと我々確認しようがない。 |
| 0:34:30 | 地盤モデルも同じですね。この辺ですねちょっと一律、 |
| 0:34:35 | ダクト系はダクト系でみんな判押したように、同じもの、または箱、箱型の箱型構造のものは多分、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:34:43 | 取水槽等多分判押して同じようなもんだったり、 |
| 0:34:46 | 若干ちょっと違うものに関しては |
| 0:34:51 | 課長記載を加えないといけないものもあるかもしれないんですけどそれがわかるようにしていただけませんか。最低限そのぐらいしないと。 |
| 0:34:59 | 他サイトと何が一緒なのかがまずわからない。 |
| 0:35:02 | ことと、構造物間で全部同じ方法で使って同じ書き方だと全然ね、読み取れないんで、 |
| 0:35:09 | 全く同じ記載になってると。 |
| 0:35:11 | この辺はですねちょっともう、 |
| 0:35:14 | もう少しですね詳しく書いていただく。 |
| 0:35:17 | 必要があってそれは多分、 |
| 0:35:19 | その要求として、その指摘としては多分、殊さっきの |
| 0:35:26 | コメントリストの 2 ページの 15 番に当たるんですが、 |
| 0:35:30 | その回答の符号を整理することによって、14 番の、その構造形式の整理だとかいうのは変わりませんかという、変わらないんだと思うんですけど。 |
| 0:35:40 | そこはちょっと我々としては読み取れていないので、 |
| 0:35:44 | 両方含めて継続といたします。よろしいでしょうか。 |
| 0:35:50 | はい。中国電力のヨシツグでございます。了解いたしました。 |
| 0:35:54 | 衛藤。 |
| 0:35:55 | 先ほどおっしゃられた通り、 |
| 0:35:57 | 構造部材につきましてはファイバ要素を使っているものもございますし 3 次元の解析モデルを使っているものについてはシェル要素を平面ひずみ、平面応力要素を使っていたり、 |
| 0:36:07 | 落との電力有効力で、 |
| 0:36:10 | 地盤のモデル等も少し変えているようなものもございますので、そのあたりがわかって、先行と同じモデルを使ってるんですということがわかるような記載の方、少し見直しをさせていただきます。以上です。 |
| 0:36:24 | よろしくお願いします。 |
| 0:36:25 | 藤本さんね、この |
| 0:36:27 | 審査の当初の審査って、 |
| 0:36:30 | 基本的に言うと、どこのサイトと共通性があるのかっていうの確認、ある意味してるんですよ。 |
| 0:36:37 | D、 |
| 0:36:38 | 申請図書の中で、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:36:41 | 唯一、それが分かるの行だけなんですよ。 |
| 0:36:45 | ここの |
| 0:36:48 | ここの施設の設計の中で、 |
| 0:36:51 | 逐次これほどこのと同じですっていう記載はないですよ。 |
| 0:36:56 | そういうことは多分し、していないはずなんで、だからここに関しては、 |
| 0:37:02 | 何を、何がどここのサイトと共通性を持っているのかっていうのは、それは明確になるようにですね今言ったのは、1 私としては、1 事例だけなんで。 |
| 0:37:13 | 一応ヨシツグさんの目で見ても、どこまでこの図書として、 |
| 0:37:17 | 太細、いわゆる他サイトと同じだと、いうことを、もしそちらとしては、 |
| 0:37:24 | 説明したいと、と説明したいんだと思いますんで、その説明が内容が我々、私たちから見て、具体的にわかるような記載。 |
| 0:37:34 | 等をもう一度、 |
| 0:37:35 | 考えていただけますでしょうか適正化の範囲だと思いますけど、今の段階で大きな論点が潜んでると思っははいないんですが、 |
| 0:37:44 | 記載はずっと充実していただきたいと思います。以上です。 |
| 0:37:49 | はい。中国電力の吉住です。ありがとうございます趣旨、理解いたしました。 |
| 0:37:54 | 我々としても先行で使われている、 |
| 0:37:56 | やり方を踏襲しているところをご説明させていただきたいところとあと、先ほどのコメントにもあったんですがグラウンドアンカーみたいなもので、要は当社独自のものっていうのはどこなのかっていうのも、あわせて我々として説明しきいのところだと思っております。 |
| 0:38:12 | この資料が、それで明確になれば個別の資料の時のし、審議も、 |
| 0:38:17 | 速やかにしていただければと思いますのでこのあたり、適切に対応させていただきたいと思います。以上です。 |
| 0:38:27 | 規制庁の服部です。はい。 |
| 0:38:29 | では他になければ次お願いしますどうぞ。 |
| 0:38:37 | はい。中国電力の吉本です。それでは資料1に戻っていただきまして2ページ目のナンバー16になりますが、既工認からの構造変更、耐震補強。 |
| 0:38:48 | 地盤改良、コンクリート置換も含めてについて説明すること。 |
| 0:38:52 | こちらについては、資料番号2-15ページをお願いします。 |
| 0:39:06 | 15ページなんですけれども、資料の中ほど黄色ハッチで、BポストCポツ、追加させていただいてまして、Bポツのほうは部材の補強工事。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:39:15 | こちらにつきましては取水槽は耐震性の向上を目的に部材飲みし圧送の補強工事を実施する。 |
| 0:39:22 | なお本工法は、女川2号機の新規制基準工認体、新規制基準対応工認で、共通適用例のある工法であるという旨を追記しております。 |
| 0:39:32 | またcポツは、周辺地盤の改良工事、具体的には高圧噴射攪拌工法になりますが、こちらも取水槽ですが、構造物周囲の埋戻度からの動圧低減を目的に、 |
| 0:39:43 | 周辺地盤の改良工事を実施しております。 |
| 0:39:46 | こちらについても女川2号機は新規制基準対応工認で共通適用例がある工法です。 |
| 0:39:52 | 以上2点について追加をさせていただきました。合わせて説明は割愛しますが、同じような記載を添付7の方にも追記しております。以上です。 |
| 0:40:04 | 規制庁の服部です。それでは確認ある、する方お願いしますどうぞ。規制庁の江崎です。これは私が出したコメントなんで、 |
| 0:40:13 | 土木に関しては多分こんなもんかなと思うんですけど。 |
| 0:40:20 | PhBの話もどっか、 |
| 0:40:22 | こっちが書いてたはずなんで、 |
| 0:40:24 | 違いましたっけ。そうですね。だから、 |
| 0:40:27 | それ以外はないと思うんですけど、例えば機器。 |
| 0:40:31 | 設備含めて、 |
| 0:40:33 | 原子等、建屋を含めて、 |
| 0:40:36 | 特に |
| 0:40:38 | 耐震裕度工事だとか、何らしか、そのあと加えたものってのは、 |
| 0:40:44 | ないと。 |
| 0:40:47 | 聞き取りましたがそれでよろしかったですか。 |
| 0:40:57 | 中国電力の落合です。まず建物関係について回答させていただきますと、建物については屋根トラスの耐震補強とかあと、イトウも補強しておりますので、それについては本文の中にですね明記しております。以上です。 |
| 0:41:14 | 建築は書いて、 |
| 0:41:16 | すいません中国電力のクラマスです。機器配管の方も |
| 0:41:21 | お話の中にあつたかなと思いますけども機器配管系につきましては、機電耐震の方のヒアリングにて耐震補強と、改造等を行っております機器 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| | の構造変更内容についてはご説明を補足説明資料にてご説明させていただきます。以上です。 |
| 0:41:42 | わかりました。そちらに関しては今ウエキに確認をとりましたがそちらでか、確認されてるといことですので、それで結構かと思ます。私からは以上です。 |
| 0:42:00 | あ、規制庁の三浦です。今のこの土木の耐震補強工事の部分なんです、ちょっと幾つか確認をさせてください。 |
| 0:42:09 | 部材の目標工事で、これ、 |
| 0:42:14 | ポストヘッドバー、これを既存分にやっとなおかつ増はするとかっていうところあるんですか。 |
| 0:42:28 | 中国電力の吉本です。今おっしゃられたような対応が取水槽に置いてございます。以上です。 |
| 0:42:35 | わかりました。要するにあれですね既存部門を、後施工せん断補強金で補強して、それでも足りないからもう1個増圧をしてやるってことですね。 |
| 0:42:53 | はい中国電力の吉元です。今三浦さんのおっしゃった通りです。以上です。はいわかりましたそれと、もう1点は、 |
| 0:43:01 | これ面内せん断力を生じてる箇所にも、 |
| 0:43:07 | 後施工せん断補強工法を用いてる。 |
| 0:43:11 | ですか。 |
| 0:43:23 | はい。中国電力のヨシツグでございます。今のご趣旨が、例えば |
| 0:43:31 | 当然、当社の場合でいきますと東西方向が弱軸断面になっておりましてそういった妻壁のところの部分にも、 |
| 0:43:38 | ポイントは、後施工せん断補強金を施工しているかというご趣旨でしょうか。どうぞ。はい。そういうことです。 |
| 0:43:48 | はい。中国電力のヨシツグでございます。 |
| 0:43:52 | あまりないんですけど一部、確かあったと思っております。今、最終的に3次元の調査を最終的に改良地盤を今回外側に追加をいたしましたので最終確認をしているところなんですけれども、 |
| 0:44:07 | 一部の壁にあったじゃなかったかと思っております。以上です。 |
| 0:44:11 | はい。わかりましたお腹ん時もこれ、 |
| 0:44:14 | CCbでね、面内せん断が入ってるところに面外せん断補強をやるわけなんで、それに対して面内せん断の何とか、 |
| 0:44:24 | 制限はいらないのかっていう話があつて、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:44:29 | この中では買うん以下であれば大丈夫だという面内方向能勢日比はなぜって話になってるんですが、その辺のところもまたナガタと同じように確認をしていただくことになると思いますので、よろしく願います。 |
| 0:44:45 | はい。中国電力のヨシツグでございます。弊社も女川サイトの先行事例確認しておりますので、そちらの基準でまたご説明の方さしていただきたいと考えております。以上です。規制庁の江崎です今、 |
| 0:44:58 | 運転に関して、女川でどのような確認をしたのか、なぜにそういったことを懸念したのかということをごちょっと申し上げます。 |
| 0:45:08 | いわゆるですね女川では、大町谷津も含めてですね、ポストヘッドバーを使う細江鳥羽じゃないCBCですね。 |
| 0:45:18 | を使うという。 |
| 0:45:21 | 堅田んで考えてるんですけども、そのときに、いわゆる面内力と面外力、両方かかる状態になったときに、面内のせん断力で、 |
| 0:45:32 | 面内のひび割れ、面内せん断によるひび割れが起きて、 |
| 0:45:37 | それは貫通ひび割れになります。そうした状態で、面外のせん断力ってというのは、 |
| 0:45:45 | あと施工アンカーの腐食、 |
| 0:45:49 | 企画力を阻害する鳥栖一部でそのせん断補強金がですね追加されたものが、 |
| 0:45:57 | 機能しなくなる可能性が。 |
| 0:46:00 | ありますよねって話があって、検討してます。 |
| 0:46:04 | それで、確か、 |
| 0:46:07 | 面内せん断力に関しては、大体 |
| 0:46:12 | ひび割れがある程度起き記憶だときを食うとしては起きない程度のところに使うという、確か制限を設けてたはずです。そういった話になると思うんで、その辺の資料をちょっともう一度ですね。翁長。 |
| 0:46:27 | 今はうん。 |
| 0:46:28 | 千田募金が確か別の会社のものであって、基本的にはpHBではないので、改めてpHBの適用性 |
| 0:46:39 | というところでは、改めてそうそうした説明が必要になってくると思います。 |
| 0:46:46 | よろしいでしょうか。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:46:50 | はい。中国電力のヨシツグでございますご説明ありがとうございます。今言われたところで、我々としてもですね、適用する際に、こういったところまで能力、もしくは |
| 0:47:02 | ほとんどひずみが出てこないのかと、そういったところを検討すべきだと思っておりましたので、改めてちょっと資料を整理してまたご説明の方をさしていただきたいと思います。以上です。 |
| 0:47:13 | 私からは以上です。 |
| 0:47:17 | 規制庁の服部です。他あればお願いします。 |
| 0:47:21 | よろしいでしょうか。 |
| 0:47:23 | では |
| 0:47:26 | 網羅性と、相違点についてのコメント回答は以上でよろしいでしょうかどうぞ。 |
| 0:47:35 | はい。中国電力の吉本です。コメント回答については以上で、適正化のほうで1点ご説明したい箇所がございますが、よろしいでしょうか。 |
| 0:47:45 | 規制庁の八田ですはい。お願いしますで。すみません先ほどの話コメント回答の方に行きますけれども、戻りますけれども、16番については了ということをお願いして、ということにしますがよろしいでしょうかどうぞ。 |
| 0:48:04 | はい。 |
| 0:48:04 | 中国電力の吉本です。16番について量ということ承知しました。 |
| 0:48:09 | 規制庁の服部ですはいそれでは相違点の節ではないですねごめんなさい適正化のほうですね。 |
| 0:48:15 | 適正化箇所の説明をお願いしますどうぞ。 |
| 0:48:20 | はい。中国電力の吉本です。資料1の4ページ目をお願いします。 |
| 0:48:30 | 4ページが一番下のNo.25になりますけれども、 |
| 0:48:35 | こちら先ほどの機電耐震の方の議論で、SA設備についての整理を追加したというのがございまして、建築土木におきましても同様の |
| 0:48:46 | 追加をさしていただいております。 |
| 0:48:48 | ただ先ほど江崎さん、コメントありましたように、ちょっと解析モデルとかですねもうちょっと具体的に落とし込めてないところがありますのでそこからは次回以降、更新していく予定です。以上です。 |
| 0:49:01 | 規制庁のハトリですはい、それでは適正化について確認する点があればお願いします。 |
| 0:49:07 | よろしいですか。 |
| 0:49:08 | はい。それでは中国電力側から追加で新規に説明するところがあればお願いしますどうぞ。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:49:19 | はい、中国電力の吉本です。当社からの説明は以上になります。 |
| 0:49:23 | 規制庁のハットリですはいわかりました。それでは |
| 0:49:28 | この資料全体を通して確認する点がある方お願いしますどうぞ。 |
| 0:49:39 | はい、木曾タテダです。すいません私から1点だけちょっと記載の適正化。 |
| 0:49:44 | の話なんですけど、 |
| 0:49:47 | 資料②の16ページ。 |
| 0:49:50 | をお願いします。 |
| 0:49:52 | で、ここの両括弧2のポツのところ、防波壁で、その下にですね黄色、 |
| 0:50:00 | のハッチングですね今回追記していただいたんですけど、 |
| 0:50:03 | 第1パラグラフと第3パラグラフが大体似たような |
| 0:50:09 | 文書構成になってるんですけど、ちょっとこれ読みづらいなというふうに思っていますね |
| 0:50:17 | ていうのが地震応答解析からえられる各部材の断面力を使うものと、 |
| 0:50:24 | 事象と解析結果からラレルを通知を使った3次元FEM解析。 |
| 0:50:29 | 断面力を求めるっていうのがあって、 |
| 0:50:34 | ていうのがですね似たような話がですねちょっと繰り返されているような記載になっているので、これはちょっと何か集約できるんじゃないかなと。 |
| 0:50:44 | いうふうに思うんですけど、ちょっとこれ、もう一度見直していただいて、ちょっと修文の方をですね検討していただくことは可能でしょうか。 |
| 0:50:57 | はい。中国電力の伊佐です。 |
| 0:50:59 | はい。承知いたしましたちょっと解析方法と、その断面力ところでも同じような言葉がちょっと2回続いていますのでちょっとこちら、 |
| 0:51:09 | はい。白井さんが言われるとちょっと少しわからず、集約できるようにちょっと記載に直したいと思います。以上です。はい。よろしくお願いします。私から以上です。 |
| 0:51:21 | 規制庁のハットリです。他あればお願いしますどうぞ。 |
| 0:51:25 | はい。規制庁の三浦です。ちょっと確認をします。 |
| 0:51:30 | 8ページ、資料2の8ページですね。 |
| 0:51:35 | ここで1-1-2の弾性設計SDによる評価の部分で、 |
| 0:51:42 | SDスターって定義、使ってますよね。これはSDと静的地震力のどちらか大きい方の地震力という定義なんですけど、 |
| 0:51:52 | これは機器配管だけに使っている。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:51:56 | 指標というか、そういうふうに考えればいいんですか。建屋構築物なんかにはSDスターというような、 |
| 0:52:02 | 表記は用いてないという理解でいいですか。 |
| 0:52:26 | 中国電力の柏木です少々お待ちください。 |
| 0:53:13 | 中国電力のカシワギですお待たせいたしました。この 1.1. 2 の(1)の機器配管系のところ記載してる、SDスターという表現に関しては、 |
| 0:53:23 | 同建築部では使ってはおりませんが、この |
| 0:53:28 | SDと静的地震力のいずれか大きい方の入力というんで設計するという考え方自体は、 |
| 0:53:37 | 兵庫県庁の方でも使っております。以上になります。規制庁の三浦です。わかりました。機器系に関してこれ機械学科のあれですよ。 |
| 0:53:46 | 建設規格の中でこういう表現確かあったんで、機器配管系だけでだけで、何とか、 |
| 0:53:54 | SDと静的地震力のいずれを大きい方っていうのが、SDスターで表されてるということで、他の土木建築の方ではそういう表現はされてないってことで理解しました。 |
| 0:54:06 | そうすると、次に、 |
| 0:54:10 | 9 ページ行って、1-1-3 静的地震力による評価ってありますよね。そこで、 |
| 0:54:17 | 2、6 行目、5 行目かな、今回工認において弾性設計をSDによる、 |
| 0:54:25 | 機器配管系の耐震評価についてはSDと、3.6Ciいずれか大きい方の地震力を用いて評価を行うって書いてある。これはSDスタートイコールって考えていいですか。 |
| 0:54:48 | はい中国電力のクラマスです。はい。ご認識の通り、弾性し、 |
| 0:54:55 | 失礼しました、弾性設計地震動SDによる地震力と静的地震力 3.6Ci、いずれか大きい方ということで先ほど、前日のSDスターとは、同じ |
| 0:55:06 | 意味での記載となっております。以上です。はい。市長の梅田です。そうすると、これ標記の話なんですけど 8 ページの方で、以下、SDスターというっていうふうに書いていて、 |
| 0:55:18 | 次に出てくる、その際 1.1. 3 の部分では、また元の文章に戻ってるってのはちょっとあの妙だと思うので、こういうSDスターの表記に関してはちょっと文章中、 |
| 0:55:31 | 統一をとっておいていただけますか。 |
| 0:55:36 | はい中国電力のクラマスです。承知いたしました。ちょっと記載がはい。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:55:42 | 統一できておりませんでしたのはいその点見直したいと思います。以上です。はい。よろしく申し上げます。それと、 |
| 0:55:49 | あと9ページの上の方で、建屋構築物の支持性能について、これ弾性設計SD。 |
| 0:55:57 | の接地率、接地圧がって書いてあるけども、これを弾性設計SDだけじゃなくてこれも静的地震力との、 |
| 0:56:05 | どちらか大きい方ってことになるんじゃないですか、どうでしょうか。 |
| 0:56:24 | 中国電力の柏木です少々お待ちください。 |
| 0:56:56 | 中国電力の柏木です。お待たせしました。衛藤ミウラさんおっしゃられる通り、弾性設計地震動SDと静的地震力包絡したものでやっておりますので、ちょっとここは記載を適正化させていただきたいと思います。 |
| 0:57:08 | はい、すいませんよろしく申し上げます。私からは以上です。 |
| 0:57:14 | 規制庁は、 |
| 0:57:15 | 1人です。他あれば申し上げますどうぞ。 |
| 0:57:23 | 規制庁、植木です。 |
| 0:57:25 | ちょっと話のあった、 |
| 0:57:30 | 静的地震力、機器配管系の静的地震力に関係してですね、まず、 |
| 0:57:38 | 8ページの先ほどの、 |
| 0:57:42 | 記載ですけど、SD。 |
| 0:57:45 | スターSTAR-STARっていうのはこれは、 |
| 0:57:50 | 岩月、上月井の文字になると思うんですけど、ちょっと他の、当初、 |
| 0:57:57 | この記号、 |
| 0:57:59 | の整合を考えてちょっとここはそろえていく。 |
| 0:58:03 | 方そろえた方がいいかなと思うんですけど。 |
| 0:58:08 | はい、中国電力のクラスです。はい承知いたしました9月期文字が記載を確認した上で図書館で整合するように修正したいと思います。以上です。 |
| 0:58:19 | 規制庁植木です。お願いします。それから9ページでこれもやはりちょっと先ほど |
| 0:58:27 | お話なんですけど、 |
| 0:58:29 | 1.1.3で静的地震力による評価。 |
| 0:58:35 | というのがあって、一段落名は、 |
| 0:58:39 | 建物、機器、共通の話かなと思う。 |
| 0:58:44 | ていて、 |
| 0:58:46 | 2段落目になってところに、機器配管系の話がここに、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:58:54 | 出てきますとで、 |
| 0:58:56 | 一方、建物構築物については、8 ページの、 |
| 0:59:04 | 括弧 2 の 1、下から 3 行目からSDとその静的地震力。 |
| 0:59:11 | の話が来建物構築物はこちらに書いてあって、 |
| 0:59:17 | 添 1.1. 2 項を参照というふうに呼び込んでますと、 |
| 0:59:23 | ということで、ちょっと何か書き方がそろってないなという気がしてまずその |
| 0:59:31 | 一つはその 1.1. 3 に機器機器だけなんか書いここに機器だけ。 |
| 0:59:39 | 書いてあるっていうのがちょっとよくわかんなくてそれでかつ、 |
| 0:59:43 | 静的地震力 3.6Ciとかっていうのがあるんですけど、 |
| 0:59:50 | これは建物の方には別に 3.0Ciとか書いてないのに、機器だけなんか 3.6Ciとか書いてあったり、 |
| 1:00:00 | あと、何ですか |
| 1:00:03 | 水平鉛直の組み合わせの話はSRSS法とか、 |
| 1:00:08 | サトウなんだ静的地震力が入る場合は同時に不利な組み合わせを左右物、作用するものとしてると。 |
| 1:00:17 | 何か機器だけやけにここは詳しく書いてあって、ちょっと何か建物、 |
| 1:00:24 | 方と書き方が何かあってないような気が。 |
| 1:00:28 | してですね、 |
| 1:00:30 | なんか 2 段落ねって、必要ないような、1.1. 3 の 2 段落なって、 |
| 1:00:37 | 書く必要がないような気もするんですけど。 |
| 1:00:41 | いかがでしょうか。 |
| 1:01:38 | お渡ししました中部電力の柏木です。植木さんおっしゃる通りちょっと建物構築物と機器配管系で記載の整合がとれてないので、ちょっとこの 1.1. 2 と 1.3 については、 |
| 1:01:50 | もう一度ちょっと全体の構成を適正化して記載。 |
| 1:01:55 | したいと考えてます。以上です。 |
| 1:01:58 | 規制庁、植木ですはい。よろしくお願いします。私からは以上です。 |
| 1:02:05 | 規制庁のハツリです他あればお願いします。 |
| 1:02:24 | 規制庁のハツリです。 |
| 1:02:26 | それでは私からちょっと念のための事実確認を何点かさせてください。 |
| 1:02:31 | ②番の 28 ページと 29 ページをお願いします。 |
| 1:02:36 | 特に 25 ページの方は 29 ページの方は、別表第 2 ないに記載のない施設ということで記載があって、その中には、例えば取水槽とか、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:02:48 | 防波壁とか、別表第2にあるものも入っているということで、これは念のための確認ですけれども、例えば防波壁なんかは、 |
| 1:03:00 | 外部浸水防護設備としての防波壁は別表第2なんだけれども、 |
| 1:03:06 | 下要するにカメラとかの間接支持構造物としての、 |
| 1:03:10 | 防波壁は別表第2じゃないので、一旦脳の方に行って、またそれが戻ってくると、というような理解をして、こういうことをすることによって、網羅性を強化するというか、 |
| 1:03:24 | なるべく漏れないようにするというような考えで、こういうものを作っているこういう網羅性の評価をしてるということで理解をしてるんですけれども。 |
| 1:03:38 | それでよろしいですかどうぞ。 |
| 1:03:45 | はい。中国電力の吉元です。今おっしゃられたようにですね別表第2に、対象の構造物においても、SクラスとのSクラスですかね、間接支持構造物の側面もありますので、 |
| 1:03:58 | 両方の意味で掲載をさせていただいているという記載になっております以上です。 |
| 1:04:03 | 規制庁のハツリですはいわかりました。 |
| 1:04:06 | では次、 |
| 1:04:08 | 42ページをお願いします。 |
| 1:04:11 | この42ページいろんな施設があるんですけれども、この評価部位なんですけれども、 |
| 1:04:18 | 例えば、扉があるような構造物、 |
| 1:04:22 | 例えば防波扉とか、現象建物機器搬入孔とか、 |
| 1:04:27 | いろいろあると思うんですけれども、 |
| 1:04:29 | 防波扉の方は、例えば額が評価部位になっていると。 |
| 1:04:35 | 一方で、搬入 |
| 1:04:39 | 出入口の方は、ヒンジ部と門部しかやりませんみたいな記載になっていて、例えば、もうほかに防水液とか、そちらの方も、 |
| 1:04:50 | 除じん機エリアの方は防水比木の壁を評価します。 |
| 1:04:53 | 一方で復水器エリア防水駅の方は、 |
| 1:04:57 | 柱と梁だけで、日置田井の方は液体というか、スキンプレートになるのかもしれないんですけれども、こちらの方は評価しないようにもこれ見えてしまうんですけれども、 |
| 1:05:08 | ここの違いというのは何なんですかどうぞ。 |
| 1:05:34 | 中国電力の佐田です。すいません少々お待ちください。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:06:32 | お話ししました中国電力のヨシツグでございます。 |
| 1:06:37 | ちょっと二つにございまして、防波扉とか、流路縮小構想はそのものがSクラス施設でございますので扉体とか縮小版そのものの評価もしております。 |
| 1:06:49 | 下の方に書いてありますシミズ扉等については、水、 |
| 1:06:53 | 防護の観点で上がってきている設備でございまして、そういったものにつきましては振動を止めている構造部材ヒンジ部の眼科ホールドなのかといったところの調査を行うということで、 |
| 1:07:05 | 記載の方法を少し分けております。以上でございます。 |
| 1:07:11 | 規制庁の服部です。 |
| 1:07:13 | そうすると、例えば、原子炉建物機器搬入法については、 |
| 1:07:18 | とヒンジ部と門ブーの評価はするけれども、あの扉かなりごつい扉だと思わんですけれども、この評価は、やらない。 |
| 1:07:28 | ということなんでしょうかどうぞ。これ一つの1例ですけど。 |
| 1:07:33 | 中国電力のコウゲです。私、経産省の方では、 |
| 1:07:39 | 扉が開いてる状態で扉が閉まっている状態というようなのを考えますけれど、扉自体については剛であるということの評価いたしまして、その5名扉が |
| 1:07:51 | 周りの固定部材によって、A、Sが損傷せず、機能を維持することということを確認することを主にしております。これはセンコーと同じ、 |
| 1:08:06 | 計算書の作り方になっております以上です。 |
| 1:08:11 | 規制庁の服部です。はい。わかりました。 |
| 1:08:15 | ちょっとごめんなさい水密扉の方に行くんですけれども、 |
| 1:08:20 | 下から三つ、六つ目ぐらいに北と東と西とあって、 |
| 1:08:28 | これ、北はヒンジ部と鷺見付部とアンカーボルトだけ。 |
| 1:08:33 | 東と西は壁もありますと。 |
| 1:08:37 | 北については、壁はないんですかねこれちょっと構造がちょっとわかってないので、はっきり言えないんですけど、北は壁がないんですかどうぞ。 |
| 1:08:50 | はい。中国電力のヨシツグでございます。 |
| 1:08:52 | ちょっと北と、東西出高度が異なっておりまして、北のほうは本当の扉のような、 |
| 1:08:59 | 構造でございます。 |
| 1:09:01 | で、ヒガシ 西というのが |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:09:05 | これも、これは横開きになるものでございましてここで書いてある壁部というのはそれを、その固定する部分と、す。衛藤それをスライドさせるために必要な壁の部分と、 |
| 1:09:18 | という意味でございます。以上です。 |
| 1:09:21 | 規制庁の服部ですはい大体わかりましたちょっと詳しいところは図面がないとわからないんですけど、言ってる意味は大体理解しましたのでまた細かい点についてはこの、 |
| 1:09:32 | 個別のところを確認をしますので、結構です。 |
| 1:09:36 | あと最後に、 |
| 1:09:38 | 50 ページをお願いします。 |
| 1:09:44 | これは確認なんですけれども、 |
| 1:09:47 | 今回ポストヘッドバーとカーセラミックへ |
| 1:09:52 | セラミックバーとか、 |
| 1:09:55 | 後施工せん断補強工法というものを使ってる部署が、 |
| 1:10:02 | 許可のときは取水槽のスクリーンスの壁だけ。 |
| 1:10:06 | ということだったと思いますが今回少し、ダクトとか、悪影響の遮へい器とか、復水器の遮へい器とか、 |
| 1:10:17 | そちらに増えてるんですけども、 |
| 1:10:19 | 許可の時の話では、 |
| 1:10:23 | 後施工せん断補強機を使うところというのは、過度なひび割れが出ないようにということで、話が |
| 1:10:34 | 方針を立てているというふうに理解をしています。 |
| 1:10:41 | それに対して評価の方法というか、 |
| 1:10:46 | 許容限界については、例えば限界層間変形角みたいな形になっていて、 |
| 1:10:53 | それだけ見ると、限界層間変形角は土木マニュアルとかによると、構造物が崩壊しない。 |
| 1:11:02 | 程度の限界値であるみたいなことも書かれていて、かなりひび割れが出るというふうに理解をしています。 |
| 1:11:09 | それに対して許可の時は、スクリーンスについては、それに対して |
| 1:11:19 | 大きなひび割れは発生しないんですよということを、これは許可なので、 |
| 1:11:25 | 簡易的にというか、実見込ん。 |
| 1:11:29 | 見通しとして確認したということだと思っておりますけれども、 |
| 1:11:32 | 基本的には、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:11:35 | せ、後施工せん断補強金を使うところについては、すべて許容限界としては層間変位、限界層間変形角とか、 |
| 1:11:45 | 局所、ごめんなさい、終局耐力とかを使うんだけど、 |
| 1:11:52 | この中で角のひび割れがないということもあわせて説明した上で、適用するということによろしいんでしょうかどうぞ。 |
| 1:12:08 | はい。中国電力の吉本です。今のご指摘に関しまして、限界層間変形角等の記載がございますがこれは純粹に、 |
| 1:12:18 | その構造部材の曲げんに対する評価になっておりまして、今、服部さんのご指摘にもありました通り後施工せん断補強を打った部分につきましては、 |
| 1:12:28 | 追加で、概ね弾性にとどまることで、後施工せん断補助金の定着性を確保するといった説明が必要ですので、 |
| 1:12:37 | 今、記載の位置付けとしては、部材の主たる評価内容をここに記載しておって、あと施工性の補助金に伴う追加の確認等については個別の説明書で、 |
| 1:12:51 | 説明するような考えにしております。以上です。 |
| 1:12:58 | 規制庁の服部です。はいわかりましたこの表はあくまでも主たるところの部材についての評価を書いているというところで、ここ詳細について、詳細な分、特殊な部材部位については、 |
| 1:13:10 | ここ、確認を、説明をしていただけるということで理解をしました。そこでちょっと割り込ませてもらって、はい。私からはとりあえず以上です。規制庁の江崎ですが、ちょっと確認ですけども、 |
| 1:13:22 | 許可のときがあったと思うんですが、今回ポストヘッドバーのその適用に関する図書っていうのは、 |
| 1:13:28 | 出てくるんでしょうか補足か、何らしかに。 |
| 1:13:34 | はい。中国電力の石本です。後施工せん断補強金を打ち込んだ構造物の補足説明資料の方で、その構造物に対して適用性があるかどうかのところ説明をさせていただく予定です。以上です。そうではなくて、ポストヘッドバーだけを、 |
| 1:13:49 | 全体として、ここに手を、 |
| 1:13:52 | 嶋で使いますという、 |
| 1:13:56 | ひとまとめにした資料はあったと思うんですけど、それは今回、工認でも、補足か何かに出されますかって話。 |
| 1:14:04 | 日下構造物ごとにそれを説明してもらうんだけど、 |
| 1:14:07 | それそのものを、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:14:11 | 適用範囲が守られているということ自体がその適用範囲をどう設定しているかとそういったことも含めてですね。 |
| 1:14:18 | 東海大等全部、PHVを使える、使える理由というものを整理した。 |
| 1:14:27 | 図書が図書っていうか、資料があったと思うんですけど、今回それもつけるんですね。 |
| 1:14:32 | 吉尾さんよろしいですか。 |
| 1:14:45 | はい。中国電力のヨシツグでございます。 |
| 1:14:49 | もともと当初取水槽だけに使うという予定でしたので取水槽のところで、代表的なもので説明、大取水槽のところで、 |
| 1:14:59 | 島根の適用性も含めてご説明をしようというふうになんて考えておりました。ちょっと今回その他の構造物も出てくるようなことが判明いたしましたので |
| 1:15:09 | 説明、中身はもちろん説明するんですけど、ちょっとどういった形でご説明するかワタタタ考えさせていただきたいと思います。以上です。そうね、当初、宗土居どこに行きついで紐付けていくかは、 |
| 1:15:21 | そちらにお任せせざるを得ないんですけど、基本的に私が言ってるのは、 |
| 1:15:28 | ご理解いただいていると思うんですけど、 |
| 1:15:30 | 一番最初私は関西の近江谷中大井かどっちなかで出てきたと思うんですねミヤマかな、Ph. D. は、 |
| 1:15:39 | そのあとに、東海第 2、 |
| 1:15:43 | 等で使われることになっていて、そうした場合は、基本的にはもう妥当性はすでに確認をされているので、適用性という観点で一応ですね当初は整理されてると思うんですね。 |
| 1:15:55 | そうした一連の図書があったはずなんですけど、そういったものが出てくるっていう。 |
| 1:16:01 | ことで私は理解してますんで、 |
| 1:16:05 | よろしくお願いします。これはないと。 |
| 1:16:09 | マストだと思いますんで、必ず出してください。 |
| 1:16:13 | はい。中国電力のヨシツグでございます。設置許可でもご説明しておりますし今回、 |
| 1:16:19 | 非まれでの部分もありますので、説明することは考えておりますのでちょっとどこの場所で説明するか我々考えさせていただいて適切に適正化使えるんだと。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:16:30 | 適用できますという資料はご説明させていただきます。以上です。矢崎です。わかりました。それはもうどこに紐づけるかは、 |
| 1:16:37 | またそう。 |
| 1:16:39 | 当社に一応一旦お任せしますので、その当初として出てきた段階でその位置付けでいいのかはちょっと |
| 1:16:48 | 判断させてください。以上です。 |
| 1:16:53 | 規制庁のハツリです。他あればお願いします。 |
| 1:16:57 | よろしいですか。 |
| 1:17:00 | そうしましたら、次に、 |
| 1:17:03 | 言っても良い、行くんでしょうかどうぞ。 |
| 1:17:08 | それとも人の入れ替えとかあるんでしょうかどうぞ。 |
| 1:17:12 | 中国電力の仲村です。人の入れ替えがございませんでよろしければ引き続きS _s 及びSDの策定概要についてご説明させていただきますがよろしいでしょうか。 |
| 1:17:22 | 規制庁のハツリですはいでは次の説明をお願いしますどうぞ。 |
| 1:17:28 | 中国電力の仲村です。 |
| 1:17:30 | それでは基準地震動S _s 及び弾性設計用地震動SDの策定概要についてご説明いたします。 |
| 1:17:37 | 資料は3番から5番の資料を用いてご説明します。 |
| 1:17:42 | それでは資料3番の1ページをお願いします。 |
| 1:17:49 | 1ページのナンバー2が、前回4月6日にご指摘いただいた内容とその回答となります。 |
| 1:17:56 | コメント内容としましては、弾性設計用地震動SDの設定について、設置変更許可段階の経緯を踏まえて説明することです。 |
| 1:18:06 | 回答としては5番の資料をお願いします。 |
| 1:18:12 | 5番の資料ですが、今回補足説明資料として、弾性設計用地震動SDの設定についてという資料を新たにご提出しております。 |
| 1:18:21 | この資料は設置許可段階に四条のまとめ資料別紙19としてご説明した内容について、整理したものとなります。 |
| 1:18:30 | 5番の資料の、通しページで言う3ページをお願いします。 |
| 1:18:36 | 3ページの1ポツの最後の段落、なお以降ですが、 |
| 1:18:42 | なお本資料は添付資料6-2-1-2、基準地震動S _s 及び弾性設計用地震動SDの策定概要の補足説明をするものであり、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:18:53 | 設置変更許可と同様の内容を説明するということで、この部分に、この資料の位置付けを明確にした上で、補足説明資料として整理しております。 |
| 1:19:04 | それ以外の内容につきましては、設置許可段階でご説明した内容と概ね、同じ内容となっておりますので、詳細な説明については割愛させていただきます。 |
| 1:19:15 | コメントNo. 2 に対する回答は以上となります。 |
| 1:19:19 | 規制庁の服部です。それでは確認する点のある方お願いします。 |
| 1:19:26 | 規制庁チギラです。わかりました。この資料ですね補足説明資料が添付されたということで、 |
| 1:19:35 | こちらについては基本的には了解いたしました。 |
| 1:19:40 | それで、ちょっと1点だけちょっと確認させていただきたいんですけど、⑤の資料の通しの20ページ。 |
| 1:19:49 | これも許可からの規制と変わっていないんですけど、 |
| 1:19:55 | この |
| 1:19:57 | 3ポツのところの、SD湾を設定するメリットデメリットの話で、なお書きのところですね、書かれている内容で、 |
| 1:20:08 | このSDをの適用性については、詳細設計段階において、 |
| 1:20:15 | そうですねSD湾と基準地震動S案との比較調査を行う要因分析を行うと。 |
| 1:20:21 | ということで、これ許可からの話なんですけど、ここの内容について、具体的にですね |
| 1:20:30 | 今、工認ですので、具体的な設備とか出て評価とかされてると思うんですけど、 |
| 1:20:38 | 具体的にどのような対応をされてるかっていうのをですね、お聞きしたいなど、この内容についてはそれは、 |
| 1:20:47 | このままで時点更新が必要でないかどうかについてですね、ちょっとその2点について、お考えをお聞きしたいと思いますが、よろしくお願いします。 |
| 1:21:07 | 中国電力の落合です。すいません。20ページのところ記載少し詳細設計段階、 |
| 1:21:13 | においてっていうところでちょっと記載が残っておりましたので、ちょっとここは記載を適正化させていただきたいと思いますんで、この検討につきましては、別途検討しておりますので、 |
| 1:21:24 | その補足説明資料、今後、ご説明させていただきたいと思いますんで、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:21:30 | ここの記載につきましてもその補足説明資料をですね呼び込むような形で、記載のほうを修正したいと思います。以上です。 |
| 1:21:37 | はい、わかりました。具体的にあれですかね建築関係なのか設備関係なのかその辺りは今どういった検討状況か。 |
| 1:21:48 | お聞かせいただけますか。 |
| 1:21:52 | 中国電力の落合です。これにつきまして基本的設備関係だと考えております設置許可のときの審査会合でのやりとりの中で、これが影響する設備関係で何か代表的なもので比較できるものを抽出してというご指摘いただいておりますので、 |
| 1:22:10 | そういった形で、今後ご説明させていただきたいと思います。以上です。はい、わかりましたじゃこの部分については適正化していただいてですねそれで個別のところでもまた |
| 1:22:21 | そちらについては説明いただければというふうに思いますのでよろしくお願いします。後から以上です。 |
| 1:22:30 | 規制庁のハットリです他あればお願いします。今のコメントに対してほかあればお願いします。 |
| 1:22:36 | よろしいですか。 |
| 1:22:37 | それでは、五味所長駅ですいません。 |
| 1:22:42 | 今のところでですね。 |
| 1:22:45 | 今、チラーのして聞いに対する回答で、 |
| 1:22:51 | 理解したんですけど、要は、19 ページに、 |
| 1:22:57 | 刀禰設定の考え方っていうところで、 |
| 1:23:03 | 一番下の行ですか、エスワンが一部、 |
| 1:23:09 | 別デイワンを上回ってるところがあってそれに関しては、 |
| 1:23:15 | 影響ないという、 |
| 1:23:17 | あまり影響ないという、 |
| 1:23:19 | ふうにとまとめているんですけど、これは設置許可段階での、 |
| 1:23:26 | 話であって、具体的なその影響に関しては別途、 |
| 1:23:32 | 設備側、 |
| 1:23:35 | を中心にその影響を見た資料を別につくって、 |
| 1:23:43 | 説明がされるということによろしいでしょうかこの表 2.1 自体は、設置許可段階のものを、 |
| 1:23:53 | と同じと同じで、それは工認でもこれはこのままにして、さらに詳細なものは、 |
| 1:24:03 | 別途、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:24:04 | 別の補足説明資料になるっていう、 |
| 1:24:07 | 理解でよろしいんでしょうか。 |
| 1:24:11 | はい。中国電力のクラムスです。はい。植木さんのご認識の通りです。この今の表 2-1 については、設置許可段階でご説明した事項と同様の内容となっておりますこれは |
| 1:24:25 | が入り、いや概略としてはこのままとさせていただきます、別の資料になろうかと思えますけども、詳細設計段階として、もう少し詳細に、 |
| 1:24:36 | この旧エスワンと今のSD湾のこの大戸スペクトルの違い、 |
| 1:24:42 | に対しての影響度合いですとかちょっと単純にスペクトルの違いだけじゃなくて設計、 |
| 1:24:48 | 方といいますかは設計体系自体も変わつQs湾の時代から変わっているところ等もございますので、ちょっとその辺りともうまちょっと整理しながら何らかはい影響度合いとしてはお示しできるように資料をまとめたと思っております。はい。以上です。 |
| 1:25:04 | 規制庁池です。はい。わかりました。私からは以上です。 |
| 1:25:11 | 他あればお願いします。 |
| 1:25:13 | よろしいでしょうか。 |
| 1:25:15 | それでは、コメント回答については以上でよろしいでしょうかどうぞ。 |
| 1:25:22 | 中国電力のナカムラですはいコメント回答については以上です。 |
| 1:25:26 | 規制庁のハットリですでは適正化について説明するところがあればお願いしますどうぞ。 |
| 1:25:32 | 中国電力の仲村です。はい、それでは続いて適正記載適正化についてご説明します。 |
| 1:25:38 | ③の資料の 2 ページ目をお願いします。 |
| 1:25:43 | 今回記載を適正した箇所、全部で 4 件、記載しておりますが、いずれも関連する内容で図の適正化に間関係するものですので、資料においてご説明させて、まとめてご説明させていただきます。 |
| 1:25:58 | A4 判の資料の 215 ページをお願いします。 |
| 1:26:08 | 215 ページと、次の 216 ページに、SDの応答スペクトルをそれぞれ水平方向鉛直方向を掲載しております。 |
| 1:26:16 | それからページ飛びまして 220 ページから、 |
| 1:26:20 | 222 ページまでに、SDと、 |
| 1:26:25 | 切りジノsWANの比較、それから、一応ハザードスペクトルの比較を掲載しておりますが、こちらの図の体裁を少し適正化しております。 |
| 1:26:35 | こちらにつきましては、ページ戻りまして 197 ページをお願いします。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:26:46 | 197 ページ以降に、基準地震動Ssについて同様の映像を掲載しておりますが、 |
| 1:26:54 | 前回の資料ではSsとSDで図の体裁凡例の記載方法ですとか、図の大きさ等が異なっておりましたので、こちらのSsの図に合わせる形で先ほど申し上げた、 |
| 1:27:06 | 215 ページ以降の図、SDの図を適正化しております。記載の適正化については説明以上となります。 |
| 1:27:16 | 規制庁のハトリです。それでは適正化について確認する点がある方お願いしますどうぞ。 |
| 1:27:25 | よろしいでしょうか。 |
| 1:27:26 | ではCsとSDについて、中国電力側から新規に説明するところがあればお願いしますどうぞ。 |
| 1:27:35 | 中国電力の仲村です新規でご説明する事項ございません。以上です。 |
| 1:27:40 | 規制庁の服部です。はいわかりました。それでは、SsとSDの資料全体に対して確認する点がある方お願いしますどうぞ。 |
| 1:27:53 | 協社長、植木です。 |
| 1:27:55 | そう |
| 1:27:56 | の生徒、 |
| 1:27:57 | 資料 5、5 なんですけどこれ、設置許可Gの資料をそのまま、 |
| 1:28:06 | どういう補 |
| 1:28:10 | ほとんどそのままということで、 |
| 1:28:13 | ちょっとこれに関して |
| 1:28:16 | 修正が必要かどうかってのはちょっと議論があるかなと思うんですけど。 |
| 1:28:24 | ちょっと今見た時に少し、 |
| 1:28:29 | わからないところは、結論が変わるものではないので、修正、記載だけなんですけど、まず、 |
| 1:28:39 | 4 ページ。 |
| 1:28:43 | ですね、 |
| 1:28:47 | これはちょっとお願いなんですけど、この図って、センコーも多分何かこう使ったりして、 |
| 1:28:56 | もともと |
| 1:28:59 | タイトクイかなんかの資料なので、等なんですけど一応、わかりやすいように加筆とかされてるので、それで、 |
| 1:29:09 | 少し、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:29:11 | 修正いただく追加いただけないかなっていうところがあって、 |
| 1:29:16 | まずこの①②の狂言会ってというのが、書いてあるんですけど、これは、 |
| 1:29:23 | 三瓶Gの文章の方で説明があって、わかるんですけど、やはりちょっと図にもですね凡例的に、 |
| 1:29:33 | ①②がどういうものなのかっていうのが、と書いてあると、この図でいろいろ説明がしやすくなるのかなと思ったので、 |
| 1:29:45 | 追加追記していただくことはできるでしょうか。 |
| 1:30:10 | 中国電力の仲村です。はい、承知いたしました。3 ページの文章で書いてる内容を、図の方にも凡例の形でわかるように記載したいと思えます。以上です。 |
| 1:30:20 | 規制庁池です。よろしくお願ひします。床、あとこれ、ちょっと質問なんですけどこのグラフの右側に、右側の軸のところですね 1.0 から |
| 1:30:34 | 3.0 まで、 |
| 1:30:36 | ちょっと軸と重なって何位、何とか=って書いてある。 |
| 1:30:42 | なんかちょっとあれなんで、これって何、何なんですかね 1.0 から 3.0 って。 |
| 1:31:02 | 少々お待ちください。 |
| 1:31:46 | 中国電力の落合ですこれにつきましては縫う=っていうことで 1.0 から 3.0 ってことでここに |
| 1:31:55 | くった形のかぎ括弧で※つけておりますけども、ここでは |
| 1:32:00 | ベースシャー保有しているベースシャー係数の異なるもので、0.5 から 1.5 でそれぞれ建物モデルを何個かつくって、こういった 123 紙、五つですねスケルトン |
| 1:32:13 | 共用は建物の強度を持たせたものに対して、この試解析をやってる結果になってると、ということで、この今青字で下に※で書いておりますけども、 |
| 1:32:26 | それぞれ提出者係数が異なるものを、 |
| 1:32:30 | 使ってこの検討をやってるというものになりますちょっとなかなか、今、確かこれ設置許可のときもご指摘いただいて、今このような形で |
| 1:32:42 | 右のところですねかぎ括弧と※の方の注記を加えさせていただいておりましたけども、 |
| 1:32:49 | といった意味合いのものになります。以上です。 |
| 1:32:54 | 規制庁植木です |
| 1:32:58 | 電車家数の 0.5 とか 0.75 とか、 |
| 1:33:05 | 1.5 までで、甲斐。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:33:09 | 青書きで書いた。 |
| 1:33:12 | それー。 |
| 1:33:15 | それは、この注記で、何となくわかったんですけど、じゃあこのN、 |
| 1:33:23 | ていう、Nっていうのは何、1.0とか、 |
| 1:33:26 | 比率なんだよ。 |
| 1:33:31 | 中国電力の落合ですちょっと今文献の方手に持っておりませんので文献の方確認して先ほどの凡例の追加と一緒にあわせてですね記載書ける範囲でちょっと記載したいと思います。以上です。 |
| 1:33:43 | 規制庁植木ですちょっと今こちらで話し合ったのは別紙 0.5 に対する比率じゃないかっていう話がちょっとこちらであったんですけどちょっといずれにしても、この |
| 1:33:57 | のが何なのかっていうのもちょっと書かないと、ちょっと意味、意味合いがわからないので、 |
| 1:34:05 | 追記していただければと思います。 |
| 1:34:10 | それからですね |
| 1:34:15 | うん。 |
| 1:34:17 | 6 ペイジー |
| 1:34:22 | 表 2.1 でですね |
| 1:34:26 | これは |
| 1:34:28 | 数SS、SS、エスワンを包絡するような係数 0.8 倍ですかそれ、そうしたときに、 |
| 1:34:38 | 設備とか、建屋が、 |
| 1:34:42 | 厳しくなるということで定量的に、設置許可の時に、例として挙げていただいているものだと思うんですけど。 |
| 1:34:53 | これーこれは |
| 1:34:56 | 設置許可段階での検討結果っていうことで資料上はこれはこのまま。 |
| 1:35:03 | 残して、で、先ほど確認したよう2ぐもっと細かい、 |
| 1:35:10 | ものに関しては、あれはまたエスワン。 |
| 1:35:14 | の大きさとの比較の話とかこれ、これとはまた違うわけですけど、これは 0.8 倍にした時に、 |
| 1:35:21 | 厳しいっていう説明なんで、 |
| 1:35:26 | 違う説明だと思うんですけど、これ、例えば、 |
| 1:35:30 | 炉内構造物ブラケットってあって、 |
| 1:35:34 | 注記 1 で概算。 |
| 1:35:36 | の結果っていうことで載ってるんですけど、これは、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:35:40 | このまま残すんですかちょっと確認したかったのは、 |
| 1:35:44 | 野瀬公認の計算、 |
| 1:35:47 | 辞書が今できた段階で、例えばこのブラケットを、 |
| 1:35:52 | の力の結果っていうのも、ひょっとしたら変わってるかもしれないし、何かこれ、この資料を後で見たときに、工認の計算書と合わせて見たときに何か、 |
| 1:36:03 | んと違うんじゃないかとかそうそういう話には、 |
| 1:36:08 | ならないのかっていうちょっと確認なんですけど。 |
| 1:36:17 | 中国電力の落合です。今、植木さんのご指摘の通り、6 ページについては、仮の検討であるっていうことと、あと設置許可で、 |
| 1:36:27 | 次の検討のものをそのままつけておりますで、ちょっとこれについては、確かにその工認との整合性っていうとあくまでも設置許可段階での概算の見込み評価に、 |
| 1:36:39 | ということで、 |
| 1:36:41 | ちょっと一応そういったことも踏まえて、3 ページの方先ほどの説明の時にですね書きのところを説明させていただきましたけども、設置許可、令和 3 年 9 月の設置許可と、 |
| 1:36:53 | 同様の内容を説明するっていうことで、ちょっとあえて落としたりもせずですね、そこについては設置許可でご説明した内容と同様の内容です、どうやって設定された考え方も含めて、 |
| 1:37:07 | ということなのであえてここを落とさずに、今回これ記載させていただいております。以上です。 |
| 1:37:12 | 規制庁です。今の打田さんの説明よくわかりました。 |
| 1:37:18 | そうすると、やはり、この表 2 の一位のところもですね個々具体的な |
| 1:37:25 | 少し数値、 |
| 1:37:27 | 見たものも出ているので、ここもちょっとしつこいんですけど、 |
| 1:37:32 | 設置許可段階での概算ですっていうのを注記として、 |
| 1:37:38 | この表にも書いておいた方がいいのかなと思うんですけど、いかがでしょうか。 |
| 1:37:55 | 中国電力の落合です承知いたしました 6 ページの表のところですねこれ概算設置評価時っていうのが、概算であるってことをちょっと注記なり、ちょっとわかるように記載したい。ちょっと記載を追加したいと思います。以上です。 |
| 1:38:11 | 規制庁、植木ですはい。よろしくお願いします。 |
| 1:38:18 | それとですね、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:38:24 | 17 ペイジーでですね |
| 1:38:30 | 表の 3.1 で、 |
| 1:38:33 | ④のところで弾性設計を地震動のSD、 |
| 1:38:40 | 年超過確率を参照し発生確率が妥当な範囲にあるかっていうことで、 |
| 1:38:47 | 当時、島根ん号の今回のやつが二重丸で、 |
| 1:38:54 | で、S、SDの 0.8 倍にした時は、 |
| 1:38:59 | 二重マルではなくて丸運になってるんですけど、 |
| 1:39:03 | これは |
| 1:39:05 | 前のを、 |
| 1:39:06 | ところで、こういう発生確率が、 |
| 1:39:12 | 多分、何か低くなりすぎるのかちょっとわかりませんが、 |
| 1:39:16 | そういうことは書いてあるんですか。なんか読んだ限りはここで、 |
| 1:39:22 | 唐突に、0 っていう評価が、 |
| 1:39:28 | 出てくる、定性的にそうなのかもしれないですけどちょっと具体的に、 |
| 1:39:33 | そんなもそうなのかっていうのがちょっとわからなくて、ちょっとそれを教えていただきたいんですけど。 |
| 1:39:55 | 中国電力の落合です。17 ページのこの年超過確率の参照につきましては先ほどおっしゃった通りで、基本的には、エスビーはにしても、0.8 倍のS _s -Dにしても、 |
| 1:40:08 | 寂静の 10 のマイナス 2 乗は十分下回っているということで、バツはバツではないんですけども、どちらがより、もともと参照している。 |
| 1:40:19 | SDのアースもともとそう考えている、SDの年超過確率に近いかというと、今設定したSDの方が近いということで二重丸にさせてもらう。 |
| 1:40:31 | で、設置評価の時もこのような記載をしておりましたんで、これにつきましては 14 ページの方で、年超過確率参照のところで、記載している通りで、 |
| 1:40:42 | 基本的には、今回設定したSD湾の年超過確率はこのぐらいで、これは一応SDの年、寂静の年超過確率を、 |
| 1:40:54 | 大きく下回ってるというような記載にしております。以上です。 |
| 1:40:59 | 規制庁植木です。聞いたかったのはまさにそこで 14 ページでですねSD湾が、 |
| 1:41:10 | 10 のマイナス 3 乗からマイナス 4 乗程度であるっていうのを、 |
| 1:41:14 | 学校は記載されていて、 |
| 1:41:18 | それがだから、 |
| 1:41:22 | 二重丸になってると思うんですけど、一方SDの 0.8 倍については特に、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:41:30 | 年超過確率が出てなくて、 |
| 1:41:34 | 要は、 |
| 1:41:37 | 何でこれがニジュウマルじゃなくて一重丸かっていうのが、ちょっとわからないという質問だったんですけど。 |
| 1:42:14 | 中国電力の落合です今ご指摘の通りではあるんですけども、ちょっとこの表の作り方として、基本的には同じ評価ですよ。要は、ニジュウマル同士であれば、そのニジュウマル同士である理由を書いたり、 |
| 1:42:30 | バツである場合はもちろんその二つである理由を書いたりしておりますけども、もうちょっと二重丸と丸につきましては特段は若干、主幹、主幹は入りませんが、特に、 |
| 1:42:42 | SD、Ss-Dの0.8倍の年超過確率を参照したり、直接的にしているわけではありますので、ここについてはただ、どちらの方が、ジャグのSDワン。 |
| 1:42:54 | SDSDの年超過確率近いかという観点で、妥当な範囲にあるかどうかという観点で、二重丸と丸ということで、記載の方はですねちょっと今度ぐらいにさせていただいて、 |
| 1:43:07 | ておりますけども、いかがでしょうか。規制庁の江崎ですけども。 |
| 1:43:12 | そこでちゃんと明確にした方がよくて、いわゆるあれですよ0.8倍になると、 |
| 1:43:18 | 超過確率がどこに来るかっていうとSsに近いところに来るんでしょう結局は、 |
| 1:43:25 | だからそうすると理由は、多分②番とほとんど同じ理由で、合理的な設計ができる、いわゆる弾性せ、弾性用設計を地震動としては、 |
| 1:43:35 | ふさわしい地震動のレベルではないということなんですよね。 |
| 1:43:40 | ②番って、④番も同じ話になるんじゃないですか。 |
| 1:43:45 | 違いますかね何か。 |
| 1:43:47 | 丸2番で書いてある。 |
| 1:43:49 | ことはその通りだなと思っていて、 |
| 1:43:52 | うん。 |
| 1:43:53 | は、ハザードスペクトルと比較すれば、0.8は同じような位置付けになるんじゃないですか。 |
| 1:44:15 | 中国電力の落合で今の江崎さんのおっしゃられた通りで、0.8倍のSs-Dだとですね乖離が大きくなるってということではありますんで、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:44:25 | ちょっとなかなか下回ってれば良い、良いつつというような気も若干ちょっとしなくもないのでちょっと記載についてはすいません規制庁、和気ですけど、我々としてはねこのハザードって、 |
| 1:44:37 | スペクトルって認めてるわけじゃないんですよだから参照レベルでだけなんですよね。 |
| 1:44:41 | だから、 |
| 1:44:42 | 我々としては、 |
| 1:44:45 | ある参照レベルで、④で来てるから、いわゆる参照レベルと参考レベルですよ、④の評価ってだから位置付けも、だから、 |
| 1:44:54 | 逆に言うと設計用としてどうなのかって言ってる①番丸岩丸様とはちょっと位置付けが、 |
| 1:45:00 | ワンランク持つランクも、判断基準としては低いわけですよそれもかんがみてですね、ちょっと整理なさったらいかがですか。あまりそんなにシビアに考える必要ないと思うんだけど、基本的には、 |
| 1:45:13 | 0.8 にすることによって、 |
| 1:45:17 | いわゆるあまり合理的な設計ができないっていう乖離が大きくて、 |
| 1:45:20 | という話だと思うんですけどただそのときにどのぐらいのレベル、レベル感かっていうのは、 |
| 1:45:24 | 多少なりともどこか考察しないとわからないですよってということウエキは言っているんだと思いますがいかがですか。 |
| 1:45:33 | 中国電力のオチアイ、堀指摘ご理解いたしました少し記載の方、適正化したいと思います。以上です。 |
| 1:45:46 | 規制庁植木ですよろしく申し上げます。あと最後なんですけど、同じ 14 ページで、 |
| 1:45:54 | ちょっとこれは質問なんですけど、下から 3 行目からですね |
| 1:46:02 | 運転状態と地震による荷重の組み合わせの検討にあたっては、SDの年超過確率を、 |
| 1:46:10 | 10 のマイナス 2 乗として設定しているっていうのは、 |
| 1:46:16 | ところ 0。 |
| 1:46:18 | 終わってじゃあ 946011 のは、1K84、 |
| 1:46:24 | 書いてあることなのか、或いは、島根の |
| 1:46:29 | 事故と地震の組み合わせのときの検討。 |
| 1:46:34 | で、使っているのか、ちょっとそこはよくわかんなくてジャグ見た限りは何か、 |
| 1:46:42 | 上にある 10 のマイナス 2 乗から 5 掛ける 10 のマイナス 4 乗っていう、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:46:48 | のは出てるんですけど、 |
| 1:46:50 | その組み合わせの検討の時に 10 のマイナス 2 乗と設定しておりっているのが、 |
| 1:46:57 | ちょっと探しても出てなくて、これはどっから持ってきたのかなっていうのをちょっと教えて欲しいんですけど。 |
| 1:47:13 | 中国電力のクラマスです。 |
| 1:47:16 | ここでSDの年、 |
| 1:47:19 | すいません、荷重の組み合わせの検討にあたってはと言っているのが |
| 1:47:24 | SAの事象と地震による荷重の組み合わせ等 |
| 1:47:29 | 検討した資料を工認審査の中でもお示しをしているかと思えますけれども、そこでの荷重の組み合わせの検討のことをさしております。 |
| 1:47:38 | で、今植木さんのお話の中にありました通り弱 4601 と見ますと、SDの発生確率、 |
| 1:47:47 | よちょっとエスワンを読みかえたものにはなりますけども 10 のマイナス 2 乗から 5 掛け 10 のマイナス 4 乗といった形で幅を持ったような形の記載にはなっておりますけども、 |
| 1:47:57 | 当社含めて先行プラントさんと同じではありますけども、こういったSAとの荷重の組み合わせを考える時には先ほどのハバノナカノー番、 |
| 1:48:08 | 大きめな方の数字を取ってきてということでSDの年超過確率を 10 のマイナス 2 乗ということを前提に組み合わせの検討を行っておりますというところで当社島根 2 号機も含めて先行プラントさん。 |
| 1:48:21 | と同様にそういった取り扱いをしているというところがございます。 |
| 1:48:25 | 以上です。 |
| 1:48:27 | 規制庁池です。わかりました。であれば、ちょっとSAと地震の組み合わせの |
| 1:48:36 | 所をまず引用するのと、引用して記載して欲しいんですけど、 |
| 1:48:46 | ちょっと今の状態で読むと、次はグーでそう。 |
| 1:48:52 | ジャグでのその荷重の組み合わせの検討で、 |
| 1:48:56 | 前の数字を使ってるようにも読めるので、ちょっと当初、島野と商品をしていただきたいんですけど、 |
| 1:49:04 | よろしいでしょうか。 |
| 1:49:10 | 中国電力のクラマスです。はい承知いたしました。 |
| 1:49:14 | 規制庁植木ですよろしくお願いします私からは以上です。 |
| 1:49:20 | 規制庁のハットリです他あればお願いします。 |
| 1:49:28 | 規制庁の服部です。では私からの文章の体裁だけ。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:49:33 | 一点確認します 7 ページをお願いします。 |
| 1:49:38 | 2 ポツ 3 のところ |
| 1:49:41 | 二つ目のパラグラフのところなんですけれども、 |
| 1:49:44 | ここでいきなり唐突でSD湾というのが出てきますと、 |
| 1:49:49 | そのSD湾の説明は、同じページではあるんですけども 4.2. 4.2 まで いかないと出てきませんということで、 |
| 1:49:59 | 文章の体裁としてわあ、 |
| 1:50:02 | ここに唐突感があるのD。 |
| 1:50:05 | 例えばこれは 1 例ですけども、 |
| 1:50:09 | 最初のパラグラフの最後のところの、概ね下回らないように配慮した弾 性設計を地震動SDの後に例えば確保してSD湾というんですよとか、 |
| 1:50:20 | 何らかの、説明をした上でSD湾という言葉を使うか、 |
| 1:50:27 | もしくはSD湾ということパーを使わずにそう長々と書いて、 |
| 1:50:35 | 2.4. 25 まで持ってくかそこら辺はいろいろ書き方があると思うんですけ れども、 |
| 1:50:40 | これ本当に体裁だけなんですけれども、中国電力はどのようにお考えで しょうかどうぞ。 |
| 1:50:48 | 中国電力の仲村です。はい。今のご指摘の通り、少し 2 段落目のSD湾 が、ここではⅡの記載になるんですけども等と通関がありますので、 |
| 1:50:58 | 少し記載の方法を検討して一段落目で読みかえるか。 |
| 1:51:03 | 羽鳥さんがおっしゃった後者の通り、ここ、2 段落目においても少し長く なりますけれども、閲覧を下回らないように設定した地震動と、 |
| 1:51:12 | 記載するか、ちょっといずれかの方法で記載を適正化したいと思います 以上です。 |
| 1:51:17 | 社長のハツトリですはいわかりました。私からは以上ですが他にあれば お願いします。 |
| 1:51:22 | よろしいでしょうか。 |
| 1:51:24 | 本日の三つのテーマに全体について、改めて規制庁側から確認する点 があればお願いします。 |
| 1:51:33 | よろしいでしょうか。 |
| 1:51:35 | 規制上、規制庁側からの確認事項は以上になりますが、中国電力側か ら何か追加で確認する点ありますかどうぞ。 |
| 1:51:50 | 中国電力田川です。こちらからは特にございません。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:51:55 | 規制庁のハツリですはいわかりました。それではまたいろいろと確認事項が出ましたけど適正に対応していただきたいと思います。それでは本日のヒアリングを終了いたします。どうもありがとうございました。 |
| 1:52:07 | ありがとうございました。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。